

平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブランジスタ

コード番号 6176 URL <http://www.brangista.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩本 恵了

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 石原 卓

TEL 03-6415-1183

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	617	—	78	—	78	—	58	—
27年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 58百万円 (—%) 27年9月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年9月期第1四半期	4.19	4.00
27年9月期第1四半期	—	—

(注) 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
28年9月期第1四半期	2,872	—	2,636	—	89.9	
27年9月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 2,581百万円 27年9月期 100百万円

(注) 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,800	—	500	—	500	—	300	—	21.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結子会社設立に伴い、当第1四半期より連結決算へ移行したため、連結業績予想を記載しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期1Q	13,922,000 株	27年9月期	13,720,000 株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	— 株	27年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期1Q	13,854,000 株	27年9月期1Q	— 株

(注) 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期第1四半期における期中平均株式数(四半期累計)は記載していません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、円安・原油安を背景とした企業収益が好調となったことから、消費マインドもこれを支えに持ち直しているものの、先行きの経済環境は、米国での利上げ局面入りや、中国・新興国経済の減速懸念もあり、不透明感が残る状況となりました。

当社グループを取り巻くインターネット市場においては、スマートフォンの普及が引き続き加速しており、平成27年のスマートフォンの国内の世帯普及率は64.2%に達し(注1)、モバイル機器からのインターネット平均利用時間も平成24年比で134%と増え続けていることから(注2)、一般消費者のインターネットメディアへの接続は引き続き増加しています。また、訪日外客数は、円安基調の継続と消費税免税制度の拡充を背景に増加を続け、平成27年度は1,973万人と過去最高を更新しており(注3)、国内の企業から外国人へ向けた情報発信のニーズも高まっております。

このような状況のもと、当社グループは「インターネットを主とした企業プロモーション支援事業」として、既存事業の業容を拡大すると同時に、新たなサービスを積極的に開始することでより一層の成長を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、電子雑誌業務では、当社電子雑誌の読者数をさらに増加させることを目的に、旅行系キュレーションメディア(注4)「旅色プラス(TABI I R O P L U S)」を開始いたしました。また、“ブレ花嫁”マガジン「B o n M a r r i a g e (ボン・マリアージュ)」を創刊するとともに、(株)クレディセゾン、(株)冬舎と共同で、大人のための遊休知マガジン「G O E T H E G L O B E (ゲーテ グローブ)」の配信を開始し、当社電子雑誌への広告掲載及び制作受託が好調に推移いたしました。

ソリューション業務では、「ECサポート」を中心に業務受託案件が好調に推移したことに加え、当社が提供する「まとまるEC店長」、「ブランジスタ物流」を活用した、手間やリスクなく海外販売を実現し、販路を拡大できる「越境ECサポート」の提供を開始いたしました。

そのほか、これまでにない斬新なオンライン・スマホゲームの展開をするため、平成27年10月27日に当社連結子会社として、(株)ブランジスタゲームを設立いたしました。これにより、当第1四半期より実績については連結で記載しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高617,482千円、営業利益78,077千円、経常利益78,105千円、親会社株主に帰属する四半期純利益58,101千円となりました。

なお、当社グループは「インターネットを主とした企業プロモーション支援事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注1) 平成27年7月総務省「平成27年版 情報通信白書」参考。

(注2) 総務省「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」参考。

(注3) 日本政府観光局(JNTO)「2015年 訪日外客数(総数)」参考。

(注4) キュレーションとは、情報のあるテーマに基づいて収集し、それ自体にコンテンツとしての価値を持たせて共有すること。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,743,067千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,445,415千円、売掛金1,305,781千円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は128,985千円となりました。主な内訳は無形固定資産65,107千円、投資その他の資産46,790千円であります。

② 負債の状況

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は235,531千円となりました。主な内訳は買掛金74,763千円、未払金71,817千円であります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,636,521千円となりました。主な内訳は資本剰余金1,160,510千円、利益剰余金1,006,610千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成27年10月27日に連結子会社として(株)ブランジスタゲームを設立したことに伴い、当第1四半期より連結決算へ移行したため、連結業績予想を記載しておりますが、現段階では子会社設立による業績に与える影響は不明確であるため、平成27年11月10日公表の当社個別の業績予想を連結業績予想として据え置いております。

今後、(株)ブランジスタゲームの動向によっては、当社の業績に影響を与える可能性がありますので、影響がわかり次第、適宜開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、(株)ブランジスタゲームを設立したため、連結子会社に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成27年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,445,415
売掛金	1,305,781
前払費用	35,993
繰延税金資産	31,250
その他	13,550
貸倒引当金	△88,923
流動資産合計	2,743,067
固定資産	
有形固定資産	17,086
無形固定資産	
その他	65,107
無形固定資産合計	65,107
投資その他の資産	46,790
固定資産合計	128,985
資産合計	2,872,052
負債の部	
流動負債	
買掛金	74,763
未払金	71,817
未払法人税等	9,512
前受金	38,879
預り金	13,799
その他	26,758
流動負債合計	235,531
負債合計	235,531
純資産の部	
株主資本	
資本金	414,050
資本剰余金	1,160,510
利益剰余金	1,006,610
株主資本合計	2,581,171
非支配株主持分	55,349
純資産合計	2,636,521
負債純資産合計	2,872,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	617,482
売上原価	200,263
売上総利益	417,219
販売費及び一般管理費	339,142
営業利益	78,077
営業外収益	
雑収入	28
営業外収益合計	28
経常利益	78,105
税金等調整前四半期純利益	78,105
法人税、住民税及び事業税	7,621
法人税等調整額	12,382
法人税等合計	20,003
四半期純利益	58,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,101

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成27年10月1日  
至平成27年12月31日)

四半期純利益	58,101
四半期包括利益	58,101
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	58,101
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)

当社グループは、「インターネットを主とした企業プロモーション支援事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。